

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤
 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,049	0.3	188	△17.8	202	△18.5	124	△10.1
26年3月期第1四半期	11,016	5.3	229	△8.7	249	△5.7	138	△2.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 121百万円 (8.7%) 26年3月期第1四半期 112百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.65	—
26年3月期第1四半期	14.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	15,417	5,324	34.5	540.85
26年3月期	15,430	5,201	33.7	528.38

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,324百万円 26年3月期 5,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	4.8	460	25.9	480	22.2	250	24.3	25.40
通期	46,500	4.7	920	10.2	950	7.0	500	47.0	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	10,833,000 株	26年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	989,078 株	26年3月期	989,037 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	9,843,926 株	26年3月期1Q	9,843,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策及び日本銀行による金融緩和政策により国内景気は緩やかな回復基調が継続しているものの、消費税率が引き上げられた4月以降、駆け込み需要の反動や消費者物価の上昇により、依然として不透明な経済状況が続いております。

食品業界におきましても、物価上昇による消費者の節約志向は続いており、また業種・業態を越えた価格競争の激化や、景気回復を受けた人手不足など依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは「安全・安心」で低価格な商品を提供するために競争力のある収益構造の構築を目指し、更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は110億49百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は1億88百万円（前年同期比17.8%減）、経常利益は2億2百万円（前年同期比18.5%減）、当期純利益は1億24百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、消費税率引き上げ直前の駆け込み需要により、期初からの集客等に不安があったものの、その影響は酒類などの賞味期限の長い一部の商品に留まり、肉・魚・惣菜の売上は順調に推移し、粗利益率は上昇いたしました。

「業務スーパー」部門につきましては、6月に群馬県で6店舗目となる「業務スーパー高崎中泉店」（群馬県高崎市）をオープンし、営業エリアの拡大を図ってまいりました。しかしながら、消費税率引き上げ後の反動は少なからず影響したことに加え、新店のオープン費用もあり利益面では減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は78億11百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は2億15百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、営業活動を強化した一方で、前連結会計年度より始めたパンの販売を、新潟県外の店舗でも取り扱いを始めたことにより競合他社との差別化が図れ、当第1四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は73,600食（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。

また、主力の弁当の他に、お客様自ら調理し、温かい状態でランチタイムを提供できる商品や、個人向けに夕食宅配弁当を始めるなど積極的な商品企画にも努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は16億47百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は1億17百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、新規顧客獲得に向けたキャンペーンなどの販促活動を行ってまいりましたが、他業種による食品宅配サービス等の拡大などから既存の顧客数が減少し、売上高は減少いたしました。また、原価においても食品原料の値上がりなどが影響し、粗利益について確保することが難しい状況となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は11億96百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は68百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(惣菜製造事業)

「惣菜受託製造」部門につきましては、コンビニエンスストア向け惣菜の受託量が計画には及ばず、厳しい状況で推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）部門につきましては、販売の形態として屋台デリ（お弁当フードコート）に出店するなど、販路拡大に努めてまいりましたが、競合他社との価格競争もあり販売食数は予定を下回る状況となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は2億64百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント損失は36百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

（旅館、その他事業）

旅館「海風亭 寺泊 日本海」につきましては、地域全体における県外からの観光客の減少により宿泊者数及び日帰りの来客数は前年を大きく下回る結果となりました。

その他の外食部門として、新潟市が誇る食と花の魅力を発信する複合施設「いくとぴあ食花」内に、季節感あふれる料理をビュッフェスタイルで提供する「キラキラレストラン」（新潟市中央区）、ならびに同市が農業を学ぶ場を提供する教育ファーム「アグリパーク」内に、かまど炊きにこだわったご飯をメインとした「農家れすとらん米どころん」（新潟市南区）をともに6月下旬オープンいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1億30百万円（前年同期比3.2%減）、外食部門の出店費用によりセグメント損失は88百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、154億17百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少し、100億93百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、53億24百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.8ポイント上昇し、34.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成26年5月14日）の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が85,264千円増加し、利益剰余金が55,106千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,795千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,150,826	1,951,072
売掛金	981,591	975,558
商品	1,168,547	1,283,095
原材料及び貯蔵品	152,389	141,956
その他	434,563	470,556
貸倒引当金	△9,043	△4,984
流動資産合計	4,878,875	4,817,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,721,523	4,745,249
土地	3,062,074	3,059,647
その他（純額）	649,121	645,143
有形固定資産合計	8,432,720	8,450,041
無形固定資産		
のれん	713	600
その他	291,361	281,312
無形固定資産合計	292,075	281,913
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	103,303
その他	1,843,500	1,781,950
貸倒引当金	△17,047	△17,058
投資その他の資産合計	1,826,452	1,868,196
固定資産合計	10,551,247	10,600,151
資産合計	15,430,123	15,417,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,616,784	2,586,521
短期借入金	1,177,002	1,114,863
未払法人税等	110,860	31,113
賞与引当金	192,060	86,467
その他	1,170,826	1,491,321
流動負債合計	5,267,534	5,310,288
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,587,148	2,374,818
リース債務	254,498	263,765
退職給付に係る負債	1,348	18,788
役員退職慰労引当金	355,918	362,917
資産除去債務	460,296	466,341
その他	502,035	496,385
固定負債合計	4,961,244	4,783,015
負債合計	10,228,779	10,093,304

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,761,133	4,886,597
自己株式	△751,582	△751,613
株主資本合計	5,178,041	5,303,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,625	8,261
退職給付に係る調整累計額	13,676	12,366
その他の包括利益累計額合計	23,302	20,627
純資産合計	5,201,344	5,324,103
負債純資産合計	15,430,123	15,417,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	11,016,148	11,049,768
売上原価	8,261,332	8,278,511
売上総利益	2,754,816	2,771,257
販売費及び一般管理費	2,525,785	2,582,893
営業利益	229,030	188,363
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	5,502	4,145
その他	28,648	22,446
営業外収益合計	34,159	26,594
営業外費用		
支払利息	11,757	10,807
その他	2,379	1,154
営業外費用合計	14,136	11,962
経常利益	249,053	202,995
特別利益		
固定資産売却益	19	—
投資有価証券売却益	—	199
特別利益合計	19	199
特別損失		
減損損失	—	2,426
その他	6,813	586
特別損失合計	6,813	3,013
税金等調整前四半期純利益	242,259	200,181
法人税、住民税及び事業税	25,937	25,848
法人税等調整額	77,804	49,833
法人税等合計	103,742	75,681
少数株主損益調整前四半期純利益	138,517	124,499
少数株主利益	—	—
四半期純利益	138,517	124,499

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	138,517	124,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,476	△1,364
退職給付に係る調整額	—	△1,310
その他の包括利益合計	△26,476	△2,674
四半期包括利益	112,040	121,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,040	121,825
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,740,295	1,615,868	1,232,623	292,636	134,724	11,016,148	—	11,016,148
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	996	38,335	—	—	6,652	45,983	△45,983	—
計	7,741,292	1,654,203	1,232,623	292,636	141,376	11,062,132	△45,983	11,016,148
セグメント利益 又は損失 (△)	172,652	94,797	83,821	△831	△30,882	319,558	△90,527	229,030

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△90,527千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△95,627千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,811,152	1,647,090	1,196,574	264,508	130,442	11,049,768	—	11,049,768
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	893	34,192	3	—	831	35,920	△35,920	—
計	7,812,045	1,681,282	1,196,577	264,508	131,274	11,085,688	△35,920	11,049,768
セグメント利益 又は損失 (△)	215,368	117,517	68,986	△36,214	△88,053	277,606	△89,242	188,363

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△89,242千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,756千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。